



**させほ夢大学**

発行●公益社団法人 させほ夢大学  
編集委員会  
事務局 / 〒857-0863  
長崎県佐世保市三浦町4-30・松蔵ビル3F  
TEL.0956-25-9555 FAX.0956-25-9545  
http://www.yumedai.com/  
E-mail:sasebo\_yumedai@yahoo.co.jp

開催ご案内 25-9556

# 夢のつづき

## させほ夢大学会報

No.295 (2020・10)

令和2年度  
第5回

2020年 **10月15日(木)**

アルカスSASEBO 大ホール

1部 開場 13:30  
講演 14:30 (終了15:50)  
2部 開場 17:30  
講演 18:30 (終了19:50)

今回の講師は、陸上関係者のみならず多くの国民から熱い視線を浴びておられる、瀬古利彦氏です。

陸上競技との出会いは、中学1年生時に校内の5キロ走大会で優勝したことから、陸上部より懇願されて大会に出るようになり、市の陸上大会の2000mで優勝、続く県大会でも当時の三重県記録で優勝したことがきっかけになり、陸上競技に魅力を感じるようになりました。高校も陸上競技の強豪校・四日市工業校への進学を決め、中長距離選手として大活躍し、それまでの記録を次々に塗り替えました。早稲田大学に進学後、箱根駅伝では1年時から4年連続で「花の2区」を走り、3、4年時で区間新を記録しました。その後、マラソン走者として数多くの大会で優勝されました。

中でも、モスクワオリンピック時に



は、日本のマラソン界は瀬古氏と宗兄弟の3人で金銀銅独占と予想されていただけにボイコットせざるを得なくなったのは、大変残念なことであり、後々の語り草になっています。

競技生活を終えられても、陸上競技の指導者や協会の役員として現在も活躍中で、東京オリンピックのマラソン選手選考で、MGC(マラソングランドチャンピオンシップ)として日本代表選考会を実施されたのは、選手及び指導者にとってこれほど納得いく決定はないと思っています。

オリンピックまで1年を切ったこの時期に、瀬古氏をお迎えし「心で走る」という演題で講演していただくのは、大変タイムリーであり、大変、楽しみで胸ワクワクしている人は多いのではないのでしょうか。

期待しましょう。

講師 ● 横浜DeNAランニングクラブ エグゼクティブ  
アドバイザー/元マラソン選手 **瀬古 利彦氏**

テーマ・心で走る

講演会は1日2回開催です。詳しくは裏面のお知らせを必ずお読みください。



次回のご案内

- と き / 11月19日(木)
- 講師 / 歌手 **加藤 登紀子氏**
- テーマ / トーク&ライブ「あなたに捧げる歌」

●1965年 東大在学中に第2回日本アマチュアシャンソンコンクールに優勝し歌手デビュー。「ひとり寝の子守唄」「百万本のバラ」「知床旅情」などヒット曲がある。'92年、フランス政府より芸術文化勲章「シュバリエ」が贈られた。女優として『居酒屋兆治』(1983年)に出演。宮崎駿監督のアニメ映画『紅の豚』(1992年)では声優としての魅力も発揮した。歌手という枠に留まらず、日本を代表するアーティストとして国際的に活躍。2020年はデビュー55周年となる。  
公式ホームページ <https://www.tokiko.com>

瀬古 利彦 氏のプロフィール

●1956年 三重県出身。早稲田大学卒。名実ともに日本長距離界、マラソンプームを牽引してきた第一人者。箱根駅伝では4年連続で「花の2区」を走り、3、4年次では区間新(当時)を獲得。トラック競技においても日本記録を総ナメにし、25,000mと30,000mでは世界記録を樹立(当時)。現役時代は国内外のマラソンで戦績15戦10勝。ロサンゼルス、ソウルオリンピックマラソン日本代表。現役引退後は指導者の道に進み、オリンピック選手を3名輩出するなど後進の育成に注力。日本陸上競技連盟 理事、日本陸上競技連盟 強化委員会・マラソン強化戦略プロジェクトリーダー、東京マラソン財団 理事。





岸 博幸氏



コロナ禍もある程度下火に、これから第三波がやってくる？混迷するコロナ対策、政治経済などを分かりやすく、舞台裏も明かしながらの岸氏の講演、私たちはどうすればいいのか考えさせられた。

船出した菅日本丸への期待と展望、かじ取りの難しさ、激動の二〇二〇年をどう乗り切るのか。百年に一度の疫病

### 小さな変化の積み重ね

北松浦郡佐々町 法本 安子

と云われる新型コロナ。「緊急事態宣言」により人々の意識、価値観に大きな変化が起こり、経済にも大きな影響を及ぼした。

日本はこれからどうやって、経済成長率を高めていけばいいのか、それには財政のバラマキと改革の大切さを語られた。

「緊急事態宣言」に伴う急激なテレワークの潮流により働く環境が激変、ディスタンスの大切さ、人間が生きてい

く上での快適な距離感。地方にいても、オンラインで中央とのパイプができる、これで地方が抱える人口問題の解決へ少し光が見えてくるようだ。

不安定な時代だからこそ、ピンチをチャンスに、地域の再生、活性化の鍵を自身で考え行動することで、自治体の真価が問われる。生まれた小さな変化を積み重ね、大きな変化を生み出すパワーとなる。私たちが住んでいるこの

ピンチをチャンスに転ずる好機

佐世保市重尾町 白井 寛

今年は春以来、「コロナ」で世界全体がいよいよ第三次大戦に巻き込まれた感じ。いつ果てるかしのれない絶望感に浸っていた矢先、今回の夢大学で岸博幸氏の講演を聞いて大



■岸氏のお話は目からウロコでした。言葉も分かりやすく、マイクを手にしたのがとてもよかったと思いました。今回は、主人もよくお話が聞こえて満足そうでした。ピンチをチャンスに変えて乗り切りたいと思います。

佐世保市鹿町町●森田 静香

■折しも日本の新しい総理が決まったタイミングで、安倍政権時代、そして菅政権の行方を大胆に斬り込んで頂いた。個々の問題を分かり易く具体的に解析して頂き、これから私たちに時代の流れの潮流に生き抜いて行く指針を貰った。

東彼杵郡波佐見町●田添 穂澄

■1時間半があつという間でもっと聞きたかった。都市部から地方へ人を呼び込む1ターンを進めて欲しいと思います。民間レベルでも言われますが、その方法が分かりません。何かの折にでも話していただくとありがたいです。

佐世保市中里町●川口さゆり

■今回の講演で、渋滞学やシャローワーク等、初めて知った事柄がいくつかありました。その中で私が注目したのが、アインシュタインが「宇宙で最強の力」と言った複利計算です。その内容は「他より早く小さな変化をつくる大きな変化になり、地道に続けると大きなインパクトをもたらす」とのこと。これが、現在の政治と経済を切り開くキーワードではないかと思いました。

佐世保市早苗町●牧 千尋

■新しい政権になり、今まで暗い気持ちになるばかりだったけど、岸氏のお話を聞き、少しは光がみえたように感じられた。まだコロナは少なくとも1年位は続くとのこと。でも、あまり恐れずに手洗い、マスクをし、人との距離を保ってあげれば良いとのこと。環境を大事にして、一人ひとりがしっかり自覚を持っていかなければと考えさせられた。

佐世保市大宮町●田中 美祐

■テレビ等で顔馴染みの岸さん、柔らかな風貌で、元・官僚時代の経験を通しての政治経済面での精通された話が聞かれた。政治畑を歩んでこられた、その幅広い知識の中で、もっとメディアに向けて矛盾点などをマスコミに暴露して欲しい！政界の内幕話も少しは聞かれたが、時間切れで終わった。タイムリーな時期だけでもっと聞きたかったが、次回に期待します。

佐世保市崎岡町●村井 政人

■菅内閣誕生間もない今日、菅さんの人間性についてお話を聞くことが出来て良かったです。本音で語っていただき感謝しています。政治に期待するだけでなく、私たち一人ひとりが努力する必要があることを痛感しました。

佐世保市横尾町●近藤由紀江

■朝から強行日ですと言われながら笑いを入れ、話された岸氏。色々話されましたが、これから沖縄の離島を応援すること。長崎も同じ離島を抱えていますので、期待しています。

佐世保市木風町●西 照美

■大変勉強になりました。良いと思われる事はどんどん発言して頂きたいと思います。

佐世保市天神町●馬場美枝子

■今日は、いつもちょっと難しいと感じている政治と経済の講演です。今のこのコロナ禍の中、在宅勤務、オンライン事業は本当に大変です。そんな折、新内閣の発足もあり、今後の新聞、テレビ等の報道は見逃せません。本日の優しく、面白くお話いただいた事を頭に置き、明日のことを考えてみます。

佐世保市赤崎町●木村 典子

■意外にもラフなスタイルでの登場に、会場の雰囲気も和んだ。コロナの関係で講演等もリモートが多く、生の講演の良さを強調。コロナは人災で、政府の対応のまずさとマスメディアの煽りすぎを指摘。今日の状況下では財政健全化政策は置いて、バラマキが大事と持論を展開。ピンチはチャンス、正しい危機意識が必要と力説。原稿無しで、よどみなく解説される様に感心した。

佐世保市南風崎町●横山 春美

# 「今こそ、地方に好機到来」 ～コロナのピンチをチャンスに変える～

いに希望が湧いてきた。昔から日本には「災い転じて福と為す」という格言がある。コロナの影響で日本経済は大不況、氏はこのコロナ被災の要因は、政府の混乱による対応の遅れ、マスメディアの煽りと論じていらつしやる。ここに菅内閣がスタートした。菅首相も当然、コロナ対策を最優先に取り組む姿勢だ。彼は政策面では改革派のトップ。縦割り行政の打破を目指して、特に地方の事業転換、制度改革に着目しているのが特徴。

安倍内閣ではこれまで日本経済の発展に貢献したといわれるが、氏によれば「経済の先進性は低い」、長期的な潜在成長率はアメリカの半分に過ぎないとの評。これを立て直すためには地方経済の思い切った活性化を図る必要がある。

今や、コロナの影響でデジタル化が進み、労働者の在宅勤務、遠隔教育などソーシャルディスタンスでスタンスが進んでいる。我々は今こそ、これまでの中央集権的な価値観を改革し、地方経済最優先主義へ方向転換すべきだという論理。その好例がオランダのアムステルダム。日本の大都市集中型経済、縦割り行政を打破、高い問題意識と価値観の再認識で地方創生に取り組み、日本経済を立て直す。まさに今はピンチをチャンス

## 講演を聴かれた感想をお待ちしています！

に変える好機と捉え、全国民が立ち上がる好機到来という話には感激した。

て、この難局を打破して頂きたいものです。

コロナショックで世界は大混乱！

※締め切りは講演日の1週間後(必着)  
※宛先は、させほ夢大学事務局まで

### ピンチをチャンスに

西海市西彼町 野澤キミ子

このコロナ禍の中、二回講演で本当に大変だろうなと思いつつ、席につきました。岸氏は登場してきた途端、疲れた眠いと愚痴からの始まりでしたが、滑舌が良く、私達にも分かりやすく、政界の話をされました。コロナもいつ終息するのだろうかと心配しながら生活していましたが、ピンチはチャンスと云う言葉で、私達主婦でも前向きになり、何か地域の為に役に立つ事ができないだろうか、考える時間を頂きました。

実にドンピシャな時に、貴重な講演を受講できて、新政権に期待も膨らむところで。ハードスケジュールでお疲れの中、1枚の原稿を見るでもなく一気に話され、また、質疑応答にも、即座の回答でテレビで見えるお姿そのものでした。

### 日本は大丈夫？



り口に引き込まれ、あつという間の90分だった。朝5時に起きて名古屋での予定をこなし5時間かけての佐世保入り！新内閣の発足に合わせたような講演で時期的にも内容もコロナに関する事が多くタイムリーと思われる。

菅内閣もまだ何の仕事もしていないのに支持率が74%と高く、国民が期待しているのでしょうか。本当に必死になっ

しかしながら、「コロナによつて世界が変わる」との話では、穏やかで自然に恵まれた地元を岸氏に賞賛していただいた事は、せめてもの救いでした。

コロナ感染者が全世界的になりコロナに振り廻されている現状で、特に日本はコロナのみならず生産性の落ち込み、人口減少、高齢化が拍車をかけていると。

氏ももつといろんな情報をお話されたかったと思います。私的には芸能界の裏話なども聴きたかったです。

最後に、フロアからの質問にこたえて頂き、きちんとしたコミュニケーションが大事と言われ、「ピンチをチャンスに」と結ばれた。

### コミュニケーションが大事

佐世保市京坪町 太郎浦幸子

ラフなスタイルでのご登壇、原稿らしきものは机上にはなく、終始エネルギーギッシュな語

### 事務局だより

★開場前に並ばれる場所でのマナーについて  
通行の妨げになり危険ですので、開場前に並ばれる場所(アルカスASASEBO交流スクエア)での、荷物置き(場所取り)はお控えください。

★会場でのマナーについて  
①スマホや携帯電話等の「電子機器類の電源は、確実にお切りください」。  
②写真撮影及び録音・録画は禁止です(著作権法の関係上)。

★講演中に御手洗い等のために、席を立たれてもかまいません。

★優先者席について  
1階会場の最後尾列に、車イス等の方のために、優先者席をご用意しています。

★館内の空調について  
フロア及び座席の位置によつてはかなりの温度差が生じることがあります。十分に準備をされた上でご出席ください。

★入場証の送付について  
次回の入場証は、10月、11月、12月までの3ヵ月分をまとめて送付します。万が一、失くされた場合は、講演当日再発行しますが、大切に保管してください。

9月27日(日)東国原英夫氏講演会の感想文は11月号に掲載いたします。

## 大切なお知らせ

- 10月15日の講演会は、新型コロナ感染による3密を避けるために、**1日2回講演**にて実施します。ご理解とご協力をお願い致します。
- 1回目講演と2回目講演の振り分けは、**「入場証」を郵送してお知らせ**します。
- 各講演の時刻表等を記載した**入場証に、必要事項をご記入の上、学生証と共に**ご持参ください。
- 第1回目講演は14時30分から、第2回目講演は18時30分から開始**しますが、新型コロナ感染防止のため、ホールの開場前に**健康チェック**を行います。
- ご入場の際はマスク着用をお願いします。
- ホールの客席は一席ずつ空けてお座りいただきます。ご協力をお願いいたします。(カラーテープを貼った席には座らないでください)
- 学生ご本人が欠席で**代理出席の場合も、必ず、学生証と入場証をご持参**ください。もし、両方ともない場合は、万が一、感染者が発生した場合、捕捉追跡ができませんので、入場をお断りすることになります。
- 学生証を失くされた場合は、学生申込時に登録された住所・氏名を確認できるものを添えて、専用窓口(ホール入り口右手側に準備します)にお申し出ください。

## ふるさと地球科学紀行

- Vol.5 -

### 佐世保の地質5

〔平戸八景その2〕

長崎県地学会 松本 直弥

前回に続き「平戸八景」をご紹介します。

【岩屋宮】高梨町にある間口約10mの海食洞で、相浦層群の砂岩が過去の海の浸食作用で洞窟を造りだしたものです。現在では「穴妙見」あるいは「須佐神社」と呼ばれています。佐世保市体育文化館北側角の変則五叉路を東へ入り、400m進んだ所の東側斜面にあります。須佐神社の急な階段を上ると社があり、その裏が洞窟になっています。洞内は神域とされていますが、1955年頃に拜殿が建立されたため、外部から洞窟の中を覗くことはできません。

【福石山】佐世保市福石町にある、幅50m、高さ3mほどの海食洞です。「福石観音」の本堂のある谷から尾根を越えた西側裏にあります。本堂の手前で西に入らなくてはなりません、表示があるので直ぐに判ります。



写真1：福石山の五百羅漢

岩屋宮と同じく相浦層群砂岩に造られた海食洞ですが、幅が広いものの奥は浅く完全に開いていて、上盤がひさしのようにせり出しています。洞内に数十体残っている五百羅漢像は、松浦熙の父松浦清(静山)が命じて安置したものだそうですが、空襲で焼け出された人たちが仮住まいした際に、大多数が投棄されてしまったそうです。

【潮之目】平戸八景のうち、これまでご紹介した七つまでが奇岩(主に砂岩)なのに対し、潮之目は早岐瀬戸の最も狭まった、現在は観潮橋が架かる部分とされます。単に場所を指すのでは無く、干満によって生じる激しい潮の流れを含めると考えられます。



写真2：大潮満潮時の早岐瀬戸

閉鎖性海域の大村湾は外洋との出入り口が、針尾瀬戸と早岐瀬戸の2つの狭い瀬戸しかありません。その早岐瀬戸の最も狭い場所に架けられている橋が観潮橋です。(針尾瀬戸にかかるのが、おなじみ西海橋と新西海橋。)

外洋と大村湾の潮位の差から、満ち潮の時は大村湾側へ、引き潮の時は佐世保湾側へと潮の流れが変わります。そういった潮の流れを眺めることができるところから「観潮橋」と名づけられたと言われます。近年では、この急流を楽しむカヌー愛好家の姿が見られる様になったそうです。

奈良時代には、川でもないのに急流が生じることから、『肥前国風土記』に「早來の門」と記され、後に「早來」が転じ、周辺の地名が「早岐」になったといわれます。満潮あるいは干潮の時に早岐瀬戸を望むと、激しい潮の流れを生み出す「月の引力」を体感することができます。

**講演を聴かれた感想をお待ちしています!** 600字程度にまとめて、させば夢大学事務局まで、郵便・FAX・メール等でお送りください。締切日は原則として、講演日の1週間後の木曜日(必着)です。